KNOWLEDGE CAPITAL

2019年2月1日

各　位

一般社団法人ナレッジキャピタル

**グランフロント大阪　知的創造・交流の場「ナレッジキャピタル」**

# 2つのアワードと学びのプログラム
# 「ナレッジキャピタル　アワードフェス」開催
## 2月1日（金）より申し込み開始

**3月21日（木・祝）：　第6回ナレッジイノベーションアワード**
**3月22日（金）　：　ナレッジキャピタル大学校**
**3月23日（土）　：　World OMOSIROI Award　5th.**

一般社団法人ナレッジキャピタル（代表理事：宮原 秀夫）は、3月21日（木・祝）～3月23日（土）の3日間、「ナレッジキャピタル アワードフェス」を開催しますのでお知らせします。

「ナレッジキャピタル アワードフェス」は、本年4月に開業6周年を迎えるナレッジキャピタルが、人材の発掘育成を目的に主催する2つのアワードと、大きな好奇心で「“イマジネ！”＝想像力」を学ぶプログラムで構成し開催する3日間のイベントです。

イベント期間中は、ナレッジキャピタル参画者のイノベーティブな活動や、「未来の仕事」をテーマとした一般の中高生による想像力豊かで多彩なアイデアを表彰する「ナレッジイノベーションアワード」、ナレッジキャピタルと関わりの深い有識者がノミネーターとなり、ナレッジキャピタルのコアバリューである「OMOSIROI」を体現する「人」を選出する「World OMOSIROI Award 5th.」、ジャンルやスタイルを超え、時代に合った総合的・実践的な新しい学びの場となることを目的とした多彩な講義「ナレッジキャピタル大学校」と、それぞれのプログラムを開催します。

また、各日程のイベントの中で、オリックス株式会社 取締役兼代表執行役社長・グループCEO 井上亮氏による特別基調講義や、ギネス公認の世界最高齢DJによるパフォーマンス、日本初にして唯一の応援合戦チーム「青春応援団 我無沙羅」によるパフォーマンスなど、ジャンルを超えた才能が交差するスペシャルな企画もお楽しみいただけます。

以 上

**＜ナレッジキャピタル アワードフェス　開催概要＞**

開催日時：　3月21日（木・祝）11：30～17：30　　第6回ナレッジイノベーションアワード
　　3月22日（金）　11：00～18：30　　ナレッジキャピタル大学校
　　3月23日（土）　13：00～17：00　　World OMOSIROI Award 5th.
会　　場：　グランフロント大阪北館 4階　ナレッジシアター
参加方法：　公式ウェブサイトから事前申し込み（定員制・先着順）
参加料金：　3月21日（木・祝）、3月23日（土）　無料
　　3月22日（金）　特別基調講義は無料
　　「“イマジネ！”講義」は、2000円（1ドリンク付、税込み）
　　※学生は無料（学生証提示要、ドリンク有料）
主　　催：　一般社団法人ナレッジキャピタル

# ナレッジキャピタル アワードフェス　プログラム一覧

## ①3月21日（木・祝）11：30～17：30　　第6回ナレッジイノベーションアワード

「ナレッジイノベーションアワード」は、ナレッジキャピタルから生まれたアイデアを「ナレッジイノベーション」の成果として広く社会に発信する取り組みです。ナレッジキャピタルに参画する企業や大学、研究機関、アーティストなどを対象に革新的なプロダクトやアクティビティを募集します。次世代を担うイノベーション人材のアイデアを表彰し、スポットを当て、広く社会に発信することを目的としています。

3つの部門に分かれ、ナレッジキャピタル参画者による多彩な活動を対象とした「ナレッジキャピタル部門」、中・高校生を対象に「未来の仕事」についてアイデアを募る「中学生アイデア部門」「高校生アイデア部門」で構成しています。

6回目を迎える今回は、「ナレッジキャピタル部門」に92作品、「中学生・高校生アイデア部門」に6,197作品の応募がありました。イベント当日は、入賞者による公開パフォーマンスを行い、多彩な選考委員による選考を経て、各部門のグランプリならびに各賞を発表します。

【選考委員】

**選考委員長**
河口 洋一郎
東京大学名誉教授 / アーティスト/ 一般財団法人デジタルコンテンツ協会会長

伊藤 恵理
国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所 / 電子航法研究所 主幹研究員/ 日本学術会議連携会員

遠藤 諭
株式会社角川アスキー総合研究所 主席研究員

塩瀬 隆之
京都大学総合博物館准教授 / デザイン学ユニット / 学術研究支援室 参与

清水 陽子
ディレクター/ アーティスト/ 研究者

村上 憲郎
村上憲郎事務所 代表 / 元 Google 日本法人名誉会長

安田 洋祐
経済学者 / 大阪大学大学院経済学研究科准教授

【タイムスケジュール】

| | |
|---|---|
| 11:30～ | 開演/青春応援団 我無沙羅によるオープニングパフォーマンス |
| 11:50～ | 中学生アイデア部門　プレゼンテーション |
| 12:40～ | 高校生アイデア部門　プレゼンテーション |
| 13:45～ | ナレッジキャピタル部門　プレゼンテーション |
| 14:45～ | 森田 真生氏によるスペシャルトーク |
| 16:10～ | 各部門結果発表 |
| ～17:30 | 終了 |

【ナレッジキャピタル部門　ノミネート作品】※50音順

**iPresence 合同会社：「介護施設向け自動運転見回りテレプレゼンスロボット CARE-JIRO」**

介護業界の人材不足と夜勤の労働者の不足により、夜間の定期的な巡回や緊急時の迅速な対応ができない事業所が多い中、この問題を解決するために開発されたロボット。ロボットが自動で夜間でも介護施設内の廊下と各部屋の巡回し、動く人を検知した場合、センターに通知を飛ばします。オペレーターや施設スタッフがロボットを経由して遠隔で会話することにより、通知からかけつけるまでの時差を埋めることを実現。

**VisLab OSAKA / エアフローティングメデ委員会　：「エア・フローティングメディア展」**

空中に浮遊する新しい表現メディアである「エア・フローティングメディア」を利用した作品展。新しい表現メディアとして普及・定着させるために、継続的に開催する。新しい未来を創るのは次世代の若者たちであるという考えから学生（大学生、高校生）が中心となりイベント企画から作品制作までを行い、子供から年配の方まで多くの人に驚き・楽しさ・感動を提供。活動の中で空中映像を主軸にしてリアルとバーチャルを組み合わせた新しい AR（拡張現実感）の提案など来場者の反応を観察しながら技術や表現を改良・発展させている。

**岩井 憲一：「ノンコーディング AI ツール H2O で日本を解決！」**

プログラミングが不要なオープンソース AI ツール H2O の普及を目的に「日本 H2O コミュニティ(JHC: Japan H2O Community)」を立ち上げ。H2O は、米国 H2O.ai 社製で、誰でも無料で使用ができ、インストールして起動すると、いくつかパラメータを設定するだけですぐに AI が実現。現在、コンテンツの作成および日本語化、そしてユーザサポートを通じて日本の労働力不足の解消を目指している。

**音羽電機工業株式会社 × 明神 智久：「アフリカの子供たちを雷から守る」**

ルワンダからのインターン生をきっかけに、雷多発地帯の命を守るための活動を展開する中、避難行動が最も重要であると考え、子供たちにもわかりやすく行動がとれるように、雷から身を守る方法を盛り込んだ新しいオニごっこを子供たちと一緒に考えるワークショップを開催。世界の困っている人に役立つという目的を共感するとともに、ルールを作るという学びも実践。現在、6 つの雷オニごっこ案を現地語化し、子供たちに届ける準備を進行中。

**東京大学大学院廣瀬・谷川・鳴海研究室：「Magic Table」**

現実空間にある正方形のテーブルを触りながらその周りを歩く際、リダイレクションを用いてバーチャル空間の視点を操作すると同時に、センサーで取得した手の位置をテーブルの形に合わせて変換することで、三角形や五角形のテーブル周りを歩いているように感じさせることができるデモ。今後は、視覚・触覚のほか、聴覚などさらに別の刺激を加えることや、テーブルのサイズが変化していると感じるように映像を操作して、人の空間知覚に関する研究を進行予定。

**藤田 玉蘭・株式会社ズームス（保田 充彦）：「VR 書道パフォーマンス　浮遊書（フユウショ）」**

書道家・藤田 玉蘭氏と、VR コンテンツ制作の株式会社ズームスの異色コラボレーションから生まれたデジタル・パフォーミングアート。玉蘭氏の直筆の書をデジタル化し、VR 内の 3 次元空間に立体的な書を描くことで非現実的な体験が可能。今後はパフォーマンスとしての完成度を上げ、プロジェクション・マッピングなども取り入れた「VR パフォーマンス」として提供することを目標に制作活動を継続中。

**渡辺 一郎：「震災から学ぶ都市防災」**

近年多発する地震等による大災害後に、地盤や建造物のダメージの早期の可視化を目的とし、パソコンによる「BIM」と 3D スキャナーを併用して、震災後の危険エリアの可視化と早期避難を実現。調査員や応急危険度判定士不足にも対応し、特に被害の大きい場所での 2 次災害からの避難誘導に効果を発揮。

※「BIM」とは、パソコンによる 3 次元設計手法の一つで、建築の設計図作成や空間の VR 化、環境シュミレーションなどの機能があり、現在、その技術を向上させる研究会を主宰中。

【総合司会】

芦沢 ムネト（タレント・イラストレーター）
1979 年 9 月 19 日生まれ。コントグループ「パップコーン」リーダー。2011 年末より Twitter で掲載した癒し系キャラクター「フテネコ」が話題を呼び、洋・邦楽問わずさまざまなアーティストから支持を得て、数々の MV や CD ジャケット、コラボグッズなどを手掛けている。また、ライブやフェス等のイベントでは MC を務めながら、公式グッズのデザインにも参加している。T-FM「SCHOOL OF LOCK!」ではあしざわ教頭として 10 代、20 代に向けて熱い授業（放送）を届けている。

【スペシャルトークゲスト】

森田 真生（独立研究者）
1985 年東京都生まれ。独立研究者。東京大学理学部数学科を卒業後、独立。現在は京都に拠点を構え、在野で執筆・研究活動を続ける傍ら、国内外で「数学の演奏会」や「大人のための数学講座」「数学ブックトーク」など、数学に関するライブ活動を行っている。デビュー作『数学する身体』（新潮社）で第 15 回小林秀雄賞を受賞。そのほか著書に『アリになった数学者』（福音館書店）、編著に『数学する人生』（新潮社）がある。

【オープニングパフォーマンスゲスト】

青春応援団 我無沙羅
愛知県刈谷市を拠点に活動する日本初にして唯一の応援合戦パフォーマンスチーム。活動コンセプトを「応援合戦の感動を世界に」とし、国内国外問わずイベント出演。フランス・パリで開催の JAPAN EXPO では 2 年連続 1 万人を超える観客を前に、圧倒的熱量とパフォーマンスで会場を盛り上げた。応援合戦を地元刈谷が、日本が、世界に誇るべき文化として発信を続ける新進気鋭の若手群舞集団。

**②3 月 22 日（金）11：00～18：30　　ナレッジキャピタル大学校**

2018年3月に“イマジネ！（想像する）”をテーマに、100コマ超の講義を実施した「ナレッジキャピタル大学校」の第2弾です。

人工知能（AI）など技術の急速な進化による社会変革、スタートアップの重要性の高まり、戦後最大ともいわれる教育制度の見直しや、リベラルアーツへの希求、さらには「人生100年時代」における生き方…。

今、あらゆる世代に新しい知識の習得が求められています。ナレッジキャピタルでは、ジャンルやスタイルを超えた、新しい学びの場として「ナレッジキャピタル大学校」を実施します。

「ナレッジイノベーションアワード」「World OMOSIROI Award」の選考委員と受賞者が講師となり「0から1を生む講義」「1を100にする講義」両者を掛け合わせた「1×1=∞（無限）の講義」の3段階で構成する「“イマジネ！”講義」では、壁のない教室で、想像する力を学びます。

また、特別基調講義には、オリックス株式会社 取締役兼代表執行役社長・グループCEO井上 亮氏が登壇します。

【特別基調講義　講師】

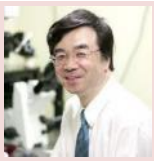
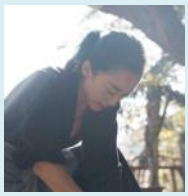
**井上 亮氏(オリックス株式会社 取締役兼代表執行役社長・グループ CEO)**
**「日本におけるベンチャーキャピタルの現状と将来」**
オリックスキャピタルの過去の実績から見る VC の限界と問題点の検証と、将来のスタートアップ企業への支援をどうすべきか、また、起業家が考えなければならない資金調達の限界と投資家対応の問題点などについて話します。

【ナレッジキャピタル大学校　講義スケジュール】

**特別基調講義**　　●入場無料

| | |
|---|---|
| AM 11：00 ▼ AM 12：00 | 井上 亮<br>（オリックス株式会社取締役兼代表執行役社長・グループ CEO） |

**“イマジネ！”講義**　●2 時からパスポート（大人/2000 円　※1 ドリンク付き、学生以下/無料・ドリンクなし）

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1限目 | PM 2:00 ▼ PM 3:20 | 0 から 1 を生む講義 | | | | |
| | | <br>清水 陽子<br>ディレクター/アーティスト /サイエンティスト<br>科学と芸術を融合し、新しい世界を切り開く。新時代のイノベーション・プロジェクトとは |  <br>生田 幸士<br>東京大学教授（情報理工学系研究科　システム情報学専攻）<br>たまご落としと馬鹿ゼミが生む独創研究 | <br>河口 洋一郎<br>東京大学名誉教授/アーティスト<br>生物のインテリジェンスはアート&デザインを面白くする | <br>宇川 直宏<br>現“在”美術家 / DOMMUNE 代表/京都造形芸術大学 情報デザイン学科 教授<br>高度消費的文化と平成の終焉 | <br>安田 洋祐<br>経済学者/ 大阪大学大学院経済学研究科准教授<br>「戦略的思考」で社会の見方を変えよう！ |
| 2限目 | PM 3:30 ▼ PM 4:50 | 1 を 100 にする講義 | | | | |
| | | <br>遠藤 諭<br>株式会社角川アスキー総合研究所 主席研究員<br>80 分でわかる「パソコン以前からスマートフォンや AI までの歩み」に見る 1 から 100 |  <br>永松 真依<br>鰹節伝道師 / かつお舎オーナー<br>かつお節を選択するおいしさを肌で感じよう | <br>村上 憲郎<br>村上憲郎事務所 代表 / 元 Google 日本法人名誉会長<br>IoT、Big Data、AI が切り拓き、5G が更に推進する、第４次産業革命 | <br>伊藤 恵理<br>国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 電子航法研究所 主幹研究員/日本学術会議連携会員<br>みんなでつくる AI 時代 ビジネスパーソンに必要な「STEAM」教養ってなに？ |
| 3限目 | PM 5:00 ▼ PM 6:20 | 1×1＝∞（無限）講義 | | | | |
| | | 遠藤 諭×清水 陽子×生田 幸士×永松 真依<br>テーマは「“イマジネ！”」 | | 宇川 直宏×村上 憲郎×河口 洋一郎<br>テーマは「“イマジネ！”」 | | |

※講師・時間については予告なく変更になる場合があります。

## ③3 月 23 日（土）13：00～17：00　「World OMOSIROI Award 5th.」

ナレッジキャピタルのコアバリューである「OMOSIROI」の価値を広める国際的なアワードで、ナレッジキャピタルと関わりの深い有識者がノミネーターとなり「OMOSIROI」を体現する「人」を選出するアワードです。約100名の中から選出された国内外の受賞者5名による公開プレゼンテーションと授賞式が行われます。

また、「最高齢のプロフェッショナル・クラブDJ」として、2018年ギネス世界記録にも認定されたDJ SUMIROCK氏によるオープニングパフォーマンスや、「2025 大阪・関西万博のOMOSIROI」をテーマに選考委員の宇川 直宏氏と5名のゲストが繰り広げるスペシャルトークセッションも開催します。

【選考委員】

**選考委員長**
宮原 秀夫
一般社団法人ナレッジキャピタル
代表理事 / 元大阪大学 総長

宇川 直宏
現“在”美術家/DOMMUNE 代表/京都造形芸術大学 情報デザイン学科 教授

ゲルフリート・ストッカー
アルスエレクトロニカアーティスティック ディレクター

永松 真依
鰹節伝道師/かつお舎オーナー

アンディ・チャン
スマートシティ・コンソーシアム 共同創設者
TAKABAMA Limited 会長

飛鷹全法
高野山 高祖院 住職/高野山 三宝院副住職/地域ブランディング協会理事
※選考のみ（当日不参加）

【タイムスケジュール】

| | |
|---|---|
| 13:00～ | 開演/ DJ SUMIROCK によるオープニングパフォーマンス |
| 13:05～ | 選考委員紹介・選考委員長紹介 |
| 13:15～ | トロフィー授与式・記念撮影 |
| 13:30～ | 受賞者パフォーマンス① |
| 13:50～ | 受賞者パフォーマンス② |
| 14:10～ | 受賞者パフォーマンス③ |
| 14:30～ | 休憩 |
| 14:40～ | 受賞者パフォーマンス④ |
| 15:00～ | 受賞者パフォーマンス⑤ |
| 15:30～ | スペシャルトークセッション |
| 16:50～ | エンディング |
| ～17:00 | 終了 |

※ゲスト・時間については予告なく変更になる場合があります。

【World OMOSIROI Award 5th.　受賞者】

**①芸術教育を推進する米スミソニアンのディレクター**

**レイチェル・ゴスリンズ：スミソニアン芸術産業館　ディレクター（アメリカ）**

ワシントンにあるスミソニアン芸術産業館のディレクター。クリエイティブ産業、法律、公共政策における20年以上の経験を活かし、特に建築の創造性と革新性に焦点を当てたプログラムと展示の開発を行っている。2009年から2015年末まで、オバマ前大統領の文化政策に関する諮問委員会である「芸術と人文科学に関する大統領委員会」の事務局長を務めた。

【受賞理由】文化教育を推進し、自ら創造力を発見し発展させるよう教育を若者に提供している。博物館という古い考えを一新し、それを多くの人が参加できる場に変えている。これはよりよい未来への道を開くための最も重要なことである。

**②カナダ発の新感覚ゲーム開発者**

**リン・ヒューズ：アーティスト/コンコルディア大学名誉教授（カナダ）**

モントリオールのコンコルディア大学名誉教授。芸術家、デジタルメディア研究者。2004年から18年まで、インタラクションデザインとゲームイノベーションの研究委員長を務める。またメディア芸術やテクノロジー、アート、ゲームなどに関する画期的な新しいセンターの設立と資金調達に尽力。作品の多くは、革新的なインターフェースを備えたデジタルとフィジカルを融合させたゲーム開発などで、遊び心のあるプロジェクトを数多く行っている。

【受賞理由】さまざまな意味で、常に新しい方法を発見し、また他の人たちにその方法を探求するよう促す能力を持つパイオニア。アーティストとして、教師として、そして学芸員として、非常に素晴らしい。

**③大気汚染を宝石に変えるアーティスト**

**ダーン・ローズガルテ：アーティスト/イノベーター/スタジオ・ローズガルデ創設者（オランダ）**

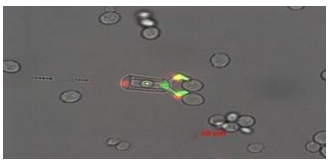
1979年生まれ。ベルラーヘ・インスティチュートで建築学の修士号を取得。2007年、Studio Roosegaardeを設立。デザイナーとエンジニアのチームと共により良い「未来の風景」の開発に取り組み、明日の都市のためのスマートで持続可能なプロトタイプを構築している。代表的なプロジェクトであるSmog Free Projectでは、スモッグから宝石を作る世界最大の屋外空気清浄機を設置し話題となる。

【受賞理由】大気の汚染物. 目には見えない問題についてポジティブに考えている。アクセサリーにする発想は素晴らしいし、さまざまな地球の問題を具現化できると感じた。

**④医療ロボットの先駆者が挑む創造性教育「たまご落とし」とは！？**

**生田　幸士：東京大学　情報理工学系研究科システム情報学専攻　教授（日本）**

大阪市生まれ。大阪大学にて金属材料工学科と生物工学科を卒業、修士課程を経て東京工業大学制御工学専攻にて世界初のヘビ型医用ロボットの研究で工学博士取得。カリフォルニア大学ロボットシステムセンター主任研究員、東京大学工学部専任講師、九州工業大学情報工学部助教授、名古屋大学工学部教授を経て2010年から現職。紫綬褒章、文部科学大臣賞、市村学術賞、米国ラボラトリーオートメーション学会貢献賞、IEEEロボティクス部門ICRA30年間で最も影響力のあった論文賞ほか、約40を受賞。



【受賞理由】医療用マイクロマシンなど、大変感銘を受ける功績がある。不可能を可能にすることを信じるための素晴らしいロールモデルである。

**⑤ごみ問題の救世主は虫？若き日本の起業家**

**川本 亮： Grubin 代表（日本）**

1998年兵庫県生まれ。現在、東京大学医学部医学科に在籍。医師を志すと同時に、独自の創造力を活かし「社会のデザイン」に取り組む。主たるプロジェクトGrubinでは、ハエの一種、アメリカミズアブを用いた食品残渣のリサイクルに取り組み、日本財団ソーシャルイノベーションアワード2018最優秀賞など受賞多数。「川本 亮」ならではの発想力と、周囲を巻き込むエネルギーで、この世の中を面白くする。

【受賞理由】プロジェクトの特性を考えると、非常に可能性のある活動をしている。若くして世界にインパクトを与える活動をしている点は評価に値する。

【総合司会】

西村 真里子
HEART CATCH 代表取締役

【オープニングパフォーマンスゲスト】

ギネス公認！世界最高齢おばあちゃん DJ
DJSUMIROCK（The oldest Guinness world record）
1935 年生まれの 83 歳。東京・高田馬場で老舗中華料理店「餃子荘ムロ」を営むかたわら、夜が深まるとクラブイベントに出演。
エレクト ロテクノからハードテクノまで長年培った音楽の知識を活かし、若手とは一味違う DJ プレイでフロアを沸かす！「最高齢のプロフェッショナル・クラブ DJ」として、2018 年ギネス世界記録にも認定された。

【スペシャルトークセッション】

テーマ：未来のOMOSIROIを考える！Expo 2025 OSAKA talk session

2025年に開催が決定した「2025 大阪・関西万博」。選考委員の宇川 直宏氏と5名のゲストが、「こんな万博になればOMOSIROI」というアイデアを自由に話し合い、未来を考えるスペシャルトークセッションです。

・ファシリテーター

宇川 直宏/ 現“在”美術家/ DOMMUNE 代表/京都造形芸術大学 情報デザイン学科 教授
既成のファインアートと大衆文化の枠組みを抹消し、自由な表現活動を行っている。個人で立ち上げたライブストリーミングスタジオ兼チャンネル「DOMMUNE」は、開局と同時に記録的なビューアー数を叩き出し、国内外で話題を呼び続ける。京都造形芸術大学情報デザイン学科教授。

・ゲストパネラー

木崎 公隆/ 現代アートユニットヨタ（Yotta）
ヨタは、木崎 公隆・山脇 弘道からなる現代アートのユニット。ジャンルや枠組み、ルールや不文律など、あらゆる価値観の境界線上を発表の場としており、それらを融解させるような作品を制作。2015 年に「金時」で第 18 回岡本太郎現代芸術賞 岡本太郎賞受賞。

小林 せかい /未来食堂 オーナー
日本 IBM、クックパッドで 6 年半勤務し、独立後「未来食堂」を開業。メニューは日替わり 1 種のみ、決算や事業書を公開するなどユニークで超合理的な仕組みを考え、飲食業に新風を吹き込む。「日経 WOMAN」ウーマン・オブ・ザ・イヤー2017 を受賞。

塩谷 舞/ オピニオンメディア milieu 編集長
大阪とニューヨークの二拠点生活中。1988 年大阪・千里生まれ。京都市立芸術大学卒業。大学時代にアートマガジン SHAKE ART！を創刊。展覧会のキュレーションやメディア運営を行う。2012 年 CINRA 入社、2015 年からフリーランス。

塩山 諒/ NPO 法人 HELLOlife 代表理事
労働・雇用分野にて、さまざまな実践と提言を行う。2014 年、民間の職業安定所「ハローライフ」において、グッドデザイン賞を受賞。2016 年「日本財団ソーシャルイノベーター支援制度」でソーシャルイノベーター10 件に選出。

光嶋 裕介/ 建築家
思想家・内田樹氏の自宅兼道場《凱風館》(2011)を神戸に設計。神戸大学客員准教授。Asian Kang-Fu Generation のステージデザインなどジャンルを超えたデザイン活動の幅は多岐にわたる。『ぼくらの家。』など著作も多数。

【施設概要】

| | | |
|---|---|---|
| 施設名 | ナレッジキャピタル | |
| 所在地 | 〒530-0011 大阪市北区大深町 3-1 グランフロント大阪　北館 | |
| 施設案内 | The Lab. みんなで世界一研究所<br>（アクティブラボ.・カフェラボ・イベントラボ) | 地下 1 階～3 階 |
| | フューチャーライフショールーム | 1 階～6 階 |
| | ナレッジシアター | 4 階 |
| | ナレッジサロン | 7 階 |
| | コラボオフィス・コラボオフィスネクス | 7 階～8 階 |
| | カンファレンスルーム | 8 階・10 階 |
| | ナレッジオフィス | 9 階～13 階 |
| | コンベンションセンター | 地下 1 階～地下 2 階 |
| 運営組織<br>代表者 | 一般社団法人ナレッジキャピタル　代表理事　宮原 秀夫<br>株式会社 KMO　代表取締役　小田島 秀俊 | |
| 事業者<br>(五十音順) | NTT 都市開発株式会社<br>株式会社大林組<br>オリックス不動産株式会社<br>関電不動産開発株式会社<br>新日鉄興和不動産株式会社<br>積水ハウス株式会社<br>株式会社竹中工務店<br>東京建物株式会社<br>日本土地建物株式会社<br>阪急電鉄株式会社<br>阪急阪神リート投資法人<br>三菱地所株式会社 | |

＜本件に関するお問い合わせ先＞
一般社団法人ナレッジキャピタル 担当：稗方・奥村 電話：06-6372-6427／FAX：06-6359-2970

※ナレッジキャピタルは、2013 年 4 月に民間企業主体により開業した「グランフロント大阪」の中核施設です。「感性」と「技術」を融合し、「新たな価値」を創出する世界初の「知的創造・交流の場」として、開発事業者の出資により一般社団法人ナレッジキャピタルと株式会社 KMO が共同運営しています。